

週刊大貫のり夫

市政ファイル No.426



日本共産党横浜市会議員大貫のり夫議会報告

発行日：2014年3月12日(水)

事務所：〒227-0061 横浜市青葉区桜台29-6

**2014年度
予算特別委員会**

交通局

地下鉄安全神話を捨ててきちっと対策を

私・大貫は交通局審査で、地下鉄の耐震強化、あざみ野駅のバリアフリー化について質問しました。

昨年2月に、関内一桜木町間の上りレールに一部破断が見つかり、トンネルを構成するセグメントの継ぎ

目から塩分を含んだ水が漏れ、レールの腐食が進行したのが原因と見られています。塩害に強い枕木への交換や水が滞留しないように道床を切り下げるなどの対応がなされました。

私・大貫は、一般に地下構造物は

安全だといわれるが、阪神淡路大震災時に神戸の市営地下鉄で被害が起きていると指摘。地盤と地下トンネルの種類の関係などを確認しながら、安全神話に頼るのではなく、きちんと対応するよう求めました。

(2面に続く)



交通局審査で質問する私・大貫＝3月6日、横浜市役所

Twitter facebook ご覧ください

**2014年度
予算特別委員会**

**資源循環局 放射能下水汚泥焼却灰を
南本牧に埋め立てて横浜港を守れるのか**

資源循環局審査では、下水の汚泥焼却灰の埋め立て問題について、質問しました。

横浜市は、福島第一原発事故後、放射能汚染の恐れが心配されることから、下水道の汚泥焼却灰を南部・北部汚泥資源化センターで保管していますが、いよいよ保管場所が限界に達する見込みです。そこで、日々発生する汚泥焼却灰30トン、埋立地の南本牧の陸上部分に穴を掘って埋め立てる計画です。

これに対し、港運協会などの港湾関係者が猛反対しています。

私・大貫は、埋め立てる場所を海上から陸上に変えれば安心なのか、最終処分場の延命化計画が破綻しないか、南本牧で働く港湾関係者を放射能被曝から守れるのかなどと質問。

荻島環境創造局長は、焼却灰は水に溶けにくいいため水面に埋めても問題はないが、心配を考慮して陸上埋立に変更したい、埋め立て計画の延

(1面より)二見交通局長は、市営地下鉄については、10日に1度の線路巡回、2年に1度の定期点検を行っており、地震の揺れに対して十分な強度を持っているが、新年度予



山積みされている汚泥焼却灰＝北部下水資源化センター、2013年11月14日、古谷康彦議員撮影

命化は心配ないなどと述べました。

また、埋め立てには市民や港湾関係者の理解が必要だが、当事者がうんと言わなければやらないということかとの問いに対して、「引き続き丁寧な説明や意見交換会を行いながら進めていきたい」と繰り返し述べるだけでした。

私・大貫は、放射能汚染している下水焼却灰を港に埋め立てることは、港湾で働く人たちを被曝から守る責任も明らかでなく、埋め立て後に土地売却も難しくなり、さらに横浜市が進めようとしている国際コンテナ戦略港湾に相反すると指摘しました。

算で全面的な補修工事をやっていきたいと答えました。

また、あざみ野駅通路のバリアフリー化を急ぐように求めました。

シリーズ『あおば子育て事情』(149)

防空演習

江口 寛

NHKの朝ドラを見ながら、昨秋、錦ちゃんから聞いた話を思い出していました。

「戦争体験なんかないよ。戦争に行ったこともないし、人を殺したり殺されそうになったこともないよ」と言いながら、錦ちゃんは語りはじめました。

「防空演習なんてうそだね。だって、焼夷弾は1個しか落ちて来ない想定だよ。だから、おしろをかぶせて、バケツリレーで水をかけて……でも、池辺町近くに空襲があったとき、焼夷弾はダツダツと連続で落ちてきて、数十メートルに渡って火の手があがった。とても消せるもんじゃない」



先日の朝ドラ「ごちそうさん」、主人公の夫・悠太郎（大阪市役所の防空演習担当）が兵隊と警官の前で、燃える火にガソリンをまきながら叫んだ。

「空襲というんは、こんなもんやない。焼夷弾が降ってくるというんは、空から火のついたガソリンが降ってくるようなものや。消してなんかおられん。命が惜しかったらとにかかく逃げろ」と。

どこかの新聞に「NHK朝ドラだけは平和主義」の川柳の投稿があったそうだ。

前回の「奈々子に②」の（ A ）は「健康」、（ B ）は「自分を愛する」です。

無料法律相談

毎月第一、第三木曜日

時間午後7時より

場所：第一木曜日はあざみ野事務所

第3木曜日は桜台大貫事務所

協力：東京合同法律事務所

予約制／1人30分

申し込みはTEL981-4805、または携帯090-5311-1879へ

生活相談は、いつでもOKです。
困った時には、お気軽に電話を！



自民党山下正人議員

学校図書「はだしのゲン」を不適切と批判

10日に行われた2014年度予算特別委員会の教育委員会審査で、青葉区選出の自民党山下正人議員が学校図書に関して質問しました。

山下議員は、「はだしのゲン」は、政治的・思想的な色合いが強く、絵も過激であり、内容も「南京事件のことに関して極めて過剰に反応して書いてある」「天皇陛下にたいして侮辱的な発言が出てくる」「実在の人物について、公平な視野に立ち、事実に基づき、正確に扱われているか」などと批判。学校図書選定の際に参考とする全国学校図書館協議会の選定基準にも違反しており、学校図書として不適切であるかのような発言をしました。

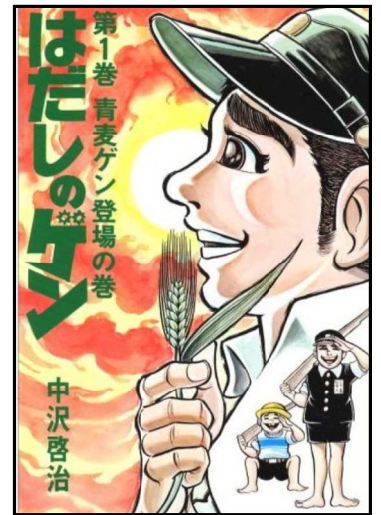
教育委員会は「今、先生ご指摘のようなことがあるとすれば、この選定基準にもう一度立ち直って、教育糧に本当に寄与するものか、児童生徒の発展段階にあっているのかを、

学校長の責任において判断するよう、各学校長に伝える」と答弁しました。

しかし、全国学校図書館協議会はこれまで、「はだ

しのゲン」は「戦争末期から原爆被災、そして敗戦後の人々のようすを、自己の考え方に忠実な少年ゲンの視線を通して、漫画という方法により描く。戦争の持つ意味、原爆の悲惨さが直截的に迫る」として、学校図書に推薦しています。

山下議員は、その事実も調査をせずに質問したことになります。一方、間違った前提に立った質問に迎合して、学校長に指示を出すとした教育委員会も問題があります。



ミジンコの独り言 あれから3年。いまだに避難生活を余儀なくされている方が26万7419人も。原発事故は収束さえしていない。復興はまだまだ。一方、月日とともに悲惨な被害は薄れがちで、防災の備えもおろそかになりやすい。3・11に改めて命と防災の大切さを再確認し、いまできることをやらなければ！ (M)